

平成26年度事業報告書

1. 事業の状況

当法人は、愛知県内の大学で独創的な研究を行う者に対し助成を行い、もって我が国の学術の振興に寄与することを目的とし、この目的を達成するために研究者への助成金の支出ならびに研究者の海外派遣を事業として行うものである。

平成26年度（第31回）の助成事業については、平成26年4月に愛知県内の各大学に助成者の推薦を依頼した。

その後、平成26年6月30日に助成候補者の推薦を締切り、各専門分野ごとに選考委員による審査を9月初旬に終え、9月26日開催の理事会における最終決議を経て、11月13日に当財団事務所にて助成者37名の内23名を招いて助成金総額1,970万円を贈呈した。

部門ごとの助成金受領者は次のとおりである。

第31回(平成26年度)助成者一覧表

1・研究助成

部門	研究者	研究テーマ・等
工 学	カジ ノリタダ 加地 範匡 (名古屋大学大学院 工学研究科 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 1細胞解析デバイス創製のための基盤技術に関する研究 * マイクロチャンバー内細胞を1細胞レベルで封入する技術を確立するとともに、定量的に評価できる実験系を構築し、新しい1細胞解析デバイスを創製する
	オガワ サトシ 小川 智史 (名古屋大学大学院 工学研究科 マテリアル理工学専攻 量子エネルギー工学分野 助教)	<ul style="list-style-type: none"> * ソリューションプラズマ法を応用した新規Mg-Ni系水素吸蔵合金ナノ粒子の創製とその評価 * プラズマ中における非平衡反応場でのMgとNiの合金化及びナノ粒子化を行い、大量作製を実現することで、実応用を見据えた水素吸蔵材料の研究開発を推進する
	タマノ シンジ 玉野 真司 (名古屋工業大学大学院 工学研究科 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 地中熱利用ヒートポンプ空調システムにおける省エネ化技術の開発 * 独自開発したDR技術を、今後普及の推進が期待されている地中熱利用ヒートポンプシステムに応用し、そのエネルギー消費を削減するための技術開発を目指す
	ニシムラ アキコ 西村 聡子 (愛知工業大学 工学部 応用化学科 バイオ環境化学専攻 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 環状ビス(3'-5')ジグアニル酸(c-di-GMP)を基盤とした新規抗がん剤の開発 * c-di-GMP及びその誘導体によるがん細胞増殖阻害機構を解明することで、より効果的な抗がん剤の開発の基盤を確立する
	ナカヤマ カツユキ 中山 雄行 (愛知工業大学 工学部 機械学科 機械工学専攻 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 渦流れの対称性を示す不変量と渦の発達/減衰との相関に関する渦流解析 * 更に高いレイノルズ数の流れでこれを分析すると共に、渦のトポロジーに関わる様々な物理量と渦の発達/減衰との相関について解析し、渦現象の挙動の把握と渦のコントロール・抑制技術に資する
医 学	リク ユウイチ 陸 雄一 (名古屋大学大学院 医学系研究科)	<ul style="list-style-type: none"> * 前頭側頭型認知症とアルツハイマー病における臨床病理学的検討 * 臨床的に前頭側頭型認知症を呈した患者について、病理学的に前頭側頭型認知症の患者群と、病理学的にはAlzheimer病の患者群とで、臨床病理学的比較を行う
	クマモト ナツコ 熊本 奈都子 (名古屋市立大学大学院 医学研究科 機能組織学 講師)	<ul style="list-style-type: none"> * 成体脳海馬神経新生における脳虚血関連分子ASIC1a(水素イオン感受性陽イオンチャネル)の役割の解明 * 本研究を通して、国内におけるASIC分子を標的とした鎮痛剤、脳血管障害抑制剤、神経再賦活剤などの創薬の端緒とする
	ハヤシ ヒサキ 林 寿来 (愛知医科大学 医学部 生理学講座 講師)	<ul style="list-style-type: none"> * 血管新生におけるG蛋白活性調節因子の研究 * 新しいシグナル分子AGS8の機能の解明を通して、従来とは異なる作用点から血管新生の制御を目指す
法 学 ・ 経 営	カドヤ ヨシヒコ 角谷 快彦 (名古屋大学大学院 経済学研究科 講師)	<ul style="list-style-type: none"> * インドの未亡人差別慣習に関する実証研究 * 未亡人の家庭での処遇や地域差について、インド主要6都市で集めた個票データで分析し、経済学及び統計学を駆使した分析を加え、全国規模の実態解明を進める
	ウダガワ ユキナリ 宇田川 幸則 (名古屋大学大学院 法学研究科 教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 中国における公正・公平な紛争解決と調解 * 調解によって解決された紛争の具体例の分析を通じて、公正・公平な紛争解決の中国的特徴について、現地でのフィールドワーク調査を主な手法として析出する
	タカダ カズキ 高田 一樹 (南山大学大学院 ビジネス研究科 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 責任ある経営教育のための制度と方法に関する研究 * ケースメソッドによる専門職倫理教育のための教材を開発するとともに、経営倫理教育の制度化に関する実証的研究を進める
	ヨコヤマ ヒロカズ 横山 寛和 (愛知大学 経営学部 会計ファイナンス学科 助教)	<ul style="list-style-type: none"> * 少子高齢社会における社会保障改革と財政運営の実証分析 * 財政負担の世代間配分とその意思決定プロセスの検証を通して、社会保障制度の持続可能性を研究する
芸 術	カナエ サチコ 金井 幸子 (愛知大学 法学部 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 非正規雇用労働者をめぐる法的諸問題 —ドイツ法を参考として— * ドイツ法における、非正規雇用労働者の実態、職業教育・労働法教育、職場におけるいじめ・ハラスメント防止、メンタルヘルス問題等の現地調査を通して、日本法へ示唆する
	シラカワ ノリヨリ 白河 宗利 (愛知県立芸術大学 美術学部 油画専攻 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * テンペラ画などで使用する、エマルジョン(分散液)を媒材として用いた技法で描かれた、北川民次作品の調査・再現研究 * 自然科学的手法を応用して調査研究し、技法材料・保存科学・美術史の観点から学際的に解明した研究成果を報告展として、名古屋市美術館にて開催する
	サウ フミコ 佐藤 文子 (愛知県立芸術大学 美術学部 デザイン・工芸科陶磁専攻 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 陶磁器制作における鉄絵技法の研究(鉄絵装飾をめぐる肥前と瀬戸・美濃との比較研究) * 各地域固有の原材料が、釉組成・焼成雰囲気と与える影響や、温度が釉下鉄彩に与える影響を研究し、鉄絵装飾表現の可能性を模索する
	スギヤマ リョウ 杉山 怜 (愛知県立芸術大学大学院 音楽研究科 音楽専攻 博士後期課程)	<ul style="list-style-type: none"> * 作曲家 イヴァン・ヴィシュネグラツキーの音楽哲学と超半音階主義の研究 * 非公開・未刊行作品が多く所蔵されているパウル・ザッハー財団(スイス)での現地調査を通じ、超半音階主義の概念を明らかにし、彼の作品創造を支えた思想の形成・変遷を考察する
計	16名	

2. 海外助成

部門	研究者	研究テーマ・等
工 学	ウエダ ケンジ 植田 研二 (名古屋大学 工学研究科 結晶材料工学専攻 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * ダイヤモンド半導体を用いた新規スピンドバイスの開発 * EMN-fall meeting 2014: Energy, materials, nanotechnology fall meeting (アメリカ フロリダ)での招待講演・情報収集を通し、ダイヤモンド半導体への高効率スピン注入・ダイヤモンドスピントランジスタを実現する
	アライダイ マサキ 洗平 昌晃 (名古屋大学大学院 工学研究科 助教)	<ul style="list-style-type: none"> * ナノスケール次世代電子デバイスの第一原理電子状態計算に基づく理論研究 * AVS 62nd International Symposium & Exhibition(アメリカ カリフォルニア)に参加し、磁気抵抗デバイスの電流誘起磁化反転機構の研究を展開する
	ヤマシタ セイジ 山下 誠司 (名古屋大学大学院 工学研究科 物質制御工学専攻 助教)	<ul style="list-style-type: none"> * Mg系層状水酸化物の層間アニオン構造制御と化学蓄熱材料への適用 * 39th International Conference and Exposition on Advanced Ceramics and Composites (アメリカ フロリダ)での若手セッションにて、低環境負荷プロセスによる機能性層状水酸化物粒子についての研究発表、及び意見交換
	セキ ケンタ 関 健太 (名古屋工業大学 工学部 電気電子工学科 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * Precise Motion Control Technique for Industrial Applications (高精度運動制御技術の産業応用) * The 40th Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society (IECON2014) (アメリカ ダラス)にて高精度位置決め制御技術および振動抑制技術に関する研究発表を行う
	ニシダ マサヒロ 西田 政弘 (名古屋工業大学大学院 工学研究科 情報工学専攻 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 非貫通超高速衝突によるイジェクタコーン角度とイジェクタサイズ * 第13回超高速衝突(アメリカ コロラドボルダー)に関する国際会議での研究発表・情報収集を行い、圧電素子の圧電/逆圧電効果を位置決め制御システムへ適用した制振制御を研究する
	ルダマン ミハエル RUDERMAN Michael (名古屋工業大学大学院 情報工学専攻 特任助教)	<ul style="list-style-type: none"> * 柔軟ロボット関節の非線形弾性要素に対するモデル化とセンサレス制御 * Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society (IECON'2014) (アメリカ ダラス)での研究成果発表及び研究動向調査を通して、今まで当該研究領域で扱われなかった「制御系設計志向の現象学」に基づいたモデル化・補償を実現する
	ムラカミ ヒロヤ 村上 博哉 (愛知工業大学 工学部 応用化学科 生命・環境分析化学研究室 講師)	<ul style="list-style-type: none"> * 液体クロマトグラフィー—エレクトロスプレーイオン化—質量分析装置(LC-ESI-MS)を用いた高感度DNA損傷体分析手法の確立とその手法を用いた早期ガン診断システム確立への展開 * 63rd ASMS Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics(アメリカ セントルイス)へ参加し、ガンとDNA損傷体との因果関係を明らかにするための本研究内容の学会発表を行う
	シン グンセイ 辛 軍青 (愛知工業大学 工学研究科 生産・建設工学専攻 博士後期課程)	<ul style="list-style-type: none"> * 高炉スラグ微粉末とフライアッシュを併用した高性能コンクリートに関する研究 * The International Congress on the Chemistry of Cement(中国 北京)への参加・論文発表、及びセメント・コンクリート分野の最新研究の情報収集・意見交換
	クニグチ ヨシノリ 谷口 義則 (名城大学 理工学部 環境創造学科 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 米国における淡水魚類の資源利用・管理 * 米国ワイオミング州大学で、地球温暖化や外来魚類が水生生態系に及ぼす影響を研究し、わが国における在来の生体系の復元・保全を提示する
	サイ エイ 崔 瑛 (名城大学 理工学部 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 不飽和ベントナイトの力学特性に関する研究 * International Congress on Environmental Geotechnics(オーストラリア メルボルン)に参加し、合理的な処分場の設計に欠かせないベントナイトの不飽和状態の力学特性を研究する
ハットリ アツシ 服部 敦 (中部大学大学院 建設研究科 教授)	<ul style="list-style-type: none"> * ドイツをはじめとした欧州諸国における国と地方政府間の政策決定システム及び地域連携システムの研究 * ドイツ ノルドライン・ヴェストファーレン州の総合的越境地域振興プログラムの実施状況に関する視察・ヒアリング・資料収集等、海外の先進的な研究事例を考察し、日本のツール開発普及に貢献する 	
オガワ ダイスケ 小川 大輔 (中部大学 電気システム工学科 助教)	<ul style="list-style-type: none"> * 窒化ガリウム薄膜を低圧プラズマに曝した時の表面ダメージ評価、及びマルチウォールカーボンナノチューブの大気圧誘電バリア放電による活性化とその反応 * 67th Gaseous Electronics Conference 及び American Vacuum Society 61th International Symposium(アメリカ ノースカロライナ)へ参加し、この分野での視野を広げる 	
工 学	ウチヤマ ナオキ 内山 直樹 (豊橋技術科学大学大学院 機械工学系 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 電動車椅子の衝突回避と片流れ防止のための制御法 * 2015 IEEE International Conference on Industrial Technology (ICIT)(スペイン セビリア)に参加し、電動車椅子の新たな制御法に関する研究発表と先端的制御法に関する情報収集を行う
	タカハシ テサ 高橋 千紗 (愛知県立大学大学院 情報科学研究科情報科学専攻 博士後期課程)	<ul style="list-style-type: none"> * 高齢者講習における運転データ解析による高齢ドライバー運転支援方法の検討 * IEEE ITSC(中国 青島)に参加し、研究テーマに関連する解析手法、生体信号処理手法などの技術調査、ITS分野の研究、他機関からの参加者との交流を進める

部門	研究者	研究テーマ・等
医 学	ナカムラ リョウイチ 中村 亮一 (名古屋大学医学部附属病院 神経内科医員)	<ul style="list-style-type: none"> * 筋萎縮性側索硬化症(ALS)における疾患関連遺伝子の検索と病態解明 * アメリカ人類遺伝学会(アメリカ サンディエゴ)での研究成果発表、情報収集により、ALSの疾患関連遺伝子の固定に役立て、病態解明、治療法開発につなげる
	ハマカワ タカシ 濱川 隆 (名古屋市立大学大学院 医学研究科 医学博士)	<ul style="list-style-type: none"> * 炎症性サイトカインIL-18が前立腺間質肥大を誘発するメカニズムの解明 * 第45回国際禁制学会総会(カナダ モントリオール)で研究発表・情報収集し、新規の前立腺肥大症の治療ターゲットの一助とする
	ゼンナミ ケンジ 全並 賢二 (愛知医科大学泌尿器科 助教)	<ul style="list-style-type: none"> * トランスポーターシステムを用いたp16機能性ペプチド導入による腎細胞がんに対する新しい分子標的治療 * 第15回 尿路悪性腫瘍会議(SUO2014)(アメリカ メリーランド)での学会発表、情報収集及びJohns Hopkins大学泌尿器科学講座研究室の見学
	オオタ アツヒコ 太田 充彦 (藤田保健衛生大学 医学部 公衆衛生学講座 准教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 職業性心理社会的要因が、視床下部—下垂体—副腎皮質系に及ぼす影響:バイオマーカーを利用した疫学的及び生理学的解析 * 第46回アジア太平洋公衆衛生学術協会学術会議(マレーシア)に参加し、仕事に起因・関連する心理的ストレスや、社会的環境が内分泌系に及ぼす生理学的影響について発表・情報収集を行う
法学・ 経営	サトウ フユキ 佐藤 直之 (名古屋大学大学院 経済学研究科 教授)	<ul style="list-style-type: none"> * クールジャパン戦略の一環として、國酒振興におけるフランス(特にパリ)の役割の研究・調査 * 今後の日本の経済成長を支える戦略分野として注力されている「日本文化産業戦略」の推進の為、フランスの食文化、ブランド発信力の実態調査を行う
芸 術	コバヤシ アキラ 小林 聡 (愛知県立芸術大学 教授)	<ul style="list-style-type: none"> * 音楽作品における楽器の表現力 * カリフォルニア大学サンディエゴ校音楽学部との交流行事に参加し、音楽作品の発表及びレクチャーを行う
	アカホリ ユキナリ 赤堀 裕之史 (愛知県立芸術大学大学院 博士後期課程)	<ul style="list-style-type: none"> * キートランペットが西洋音楽史に与えた影響とその可能性について * オーストリア・ウィーンのAnton Weidinger 氏が製作したキートランペットの現地調査・資料収集を通して、未だ研究が進んでいない西洋音楽史や楽器の研究を行う
計	21名	

2. 処務の概要

(1) 役員に関する事項

ア. 理事・監事

平成26年度末現在

役職名	氏名	就任年月日	現職
理事長	加藤時夫	平成10年 4月 1日	日東工業(株) 取締役会長
常務理事	中嶋正博	平成25年 6月 17日	日東工業(株) 経営管理本部長
理事	青木國雄	平成17年 9月 28日	名古屋大学 名誉教授
理事	小池郁男	平成 8年 4月 1日	愛知県立芸術大学 名誉教授
理事	後藤泰之	平成19年 9月 26日	愛知工業大学 学長
理事	清水哲太	平成19年 6月 28日	トヨタホーム(株) 相談役
理事	丸勢 進	平成 2年 4月 1日	名古屋大学 名誉教授
監事	岩越 稔	平成 8年 4月 1日	元東海エヌ・ティ・ティ・データ通信システムズ(株) 代表取締役社長
監事	原田 稔	平成22年 4月 1日	日東工業(株) 監査役

イ. 評議員

平成26年度末現在

役職名	氏名	就任年月日	現職
評議員	遠藤恒雄	平成11年 11月 30日	愛知県立芸術大学 名誉教授
評議員	黒野 透	平成23年 9月 29日	日東工業(株) 取締役
評議員	小川英次	平成11年 11月 30日	名古屋大学 名誉教授
評議員	川上 實	平成11年 11月 30日	愛知県立芸術大学 名誉教授
評議員	齊藤英彦	平成17年 9月 28日	名古屋大学 名誉教授
評議員	下山 宏	平成26年 1月 17日	名城大学 教授
評議員	鈴木將文	平成24年 9月 14日	名古屋大学 教授
評議員	稲垣康善	平成26年 9月 29日	名古屋大学 名誉教授
評議員	三宅養三	平成25年 9月 20日	愛知医科大学 理事長

(2) 職員に関する事項

事務業務は日東工業株式会社へ業務委託

(3) 役員会等に関する事項

ア. 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成26年 6月6日	議案1 平成25年度事業報告、貸借対照表及び附属明細書、正味 財産増減計算書及び附属明細書、財産目録承認の件 議案2 代表理事(理事長)及び業務執行理事(常務理事)の選 定の件 報告 事業活動の状況報告	原案通り可決
平成26年 9月26日	議案1 平成26年度助成者決定の件 議案2 評議員候補者ご推薦の件 報告 平成27年度事業計画について	原案通り可決
平成27年 3月20日	議案 平成27年度「事業計画」および「収支予算書」の件	原案通り可決

イ. 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 26 年 6 月 20 日	議案 1 平成 25 年度貸借対照表及び附属明細書、正味財産増減計算書及び附属明細書、財産目録承認の件 議案 2 理事 7 名選任の件	原案通り可決
平成 26 年 9 月 26 日	議案 1 平成 26 年度助成者決定の件 議案 2 定款一部変更の件 報告 平成 27 年度事業計画について	原案通り可決

ウ. 評議員選定委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 26 年 9 月 29 日	議案 評議員 1 名（稲垣康善）選出の件	原案通り可決

(4) 契約に関する事項

該当なし

(5) その他の重要事項

該当なし